

# 令和4年度自己評価結果公表シート

学校法人住吉清水学園 英明幼稚園遠里小野

## 1、園の教育目標

『三つ子の魂百まで』 「人を育てるのは人」を基本姿勢に、恵まれた教育環境の中で、子どもたちのすぐれた小さな成長の芽を早く見逃さずに伸ばし、才能を磨き、豊かな心、意欲、態度を培う。
<p>教育目標 「明るく、たくましく、辛抱強い子どもを育てる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる</li> <li>他人を思いやる心を育てる</li> <li>ありがとうと言える素直な心や、感謝の心を育てる</li> <li>豊かな精神と丈夫な身体を育てる</li> <li>基本的な生活習慣を身につける</li> </ul>

## 2、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教職員と子どもたちや保護者とのかかわり	<p>◎園の様子を保護者や地域の方へ発信（SNSの充実）</p> <p>子どもたちの様子をインスタグラムで毎日更新し、未就園児には、毎月、園庭開放・保育体験などを開催。保護者や地域の方へは毎月園だより（菜の花だより）を発行し、園での様子を伝えた。</p> <p>◎コロナ禍の中でしたが、保護者にも子どもたちの園での様子を見てもらうために、感染防止に努めながら運動会やお遊戯会など大きな行事だけでなく、体操参観や音楽参観、プール参観の入場者を今までよりも制限を緩和しながら実施した。</p>
子どもたちにコミュニケーション力を身につけさせ実践させる	<p>◎「笑顔のあいさつ」</p> <p>引き続き、来園者や近隣の人に出会ったら、自分から笑顔で大きな声のあいさつ・返事をする心を心がけた。</p>
教育内容の充実	<p>◎教育内容の質を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週金曜日の園外清掃活動を実施。</li> <li>・稲の苗植えから稲刈り、できたお米をみんなでおにぎりにして食べる食育を実施。</li> <li>・毎朝の体操朝礼の実施。</li> <li>・園の外壁へ子どもたちの製作物を展示する菜の花ボードの設置。</li> </ul>
子どもの体力づくり	<p>◎体操朝礼や縄跳びカードで個人の上達確認などをして、身体を動かす楽しさや充実感を味わえるようにし、集中力も身につけるような指導を心がける。</p> <p>◎課外教室（スポーツクラブ・スイミング）など、より一層スポーツの楽しさを体験し、体力をつける。</p>
防犯対策	<p>◎警備体制の充実</p> <p>子どもたちの安全面を確保するために、送迎時も玄関に男性職員含め2名の門番をつけ、安全面を強化。また、園児や職員を対象に住吉警察による防犯教室の実施や不審なことがあれば保護者へメールで警戒を促す通知と警察へのパトロールのお願いや地域の方への防犯の依頼も実施している。</p>

## 3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>令和4年度は、園児数も増加し園内にも活気が出てきた。ただコロナ禍ということもあり、まだ制限をしながらの保育活動が多かった。その中で保護者の方に子どもたちを見てもらう機会を増やすことができた。稲の苗植えや園外の清掃活動、菜の花ボードの設置など、成果が目に見えやすい保育に取り組み、子どもたちの「できる」を増やすことができた。また、縄跳びで体力づくりとしてカードに記録をしながら楽しんで取り組むことができた。</p>
---

## 4、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教職員と子どもたちや保護者とのかかわり	<p>◎親子行事の充実</p> <p>コロナ禍で経験したことを活かしながら行事の設定を行い、来場者の制限を解除し保護者の方にも子どもたちと一緒に楽しんでもらう。</p>
こども一人一人に寄り添う	<p>◎子ども一人一人の置かれている環境を把握しながら、寄り添って子どもたちに安心感を与えていく。</p> <p>そのために、子どもや保護者とのコミュニケーションを大切にしていく。</p>
子どもたちにコミュニケーション力を身につけさせ実践させる	<p>◎挨拶をするときも挨拶をされた時も笑顔で元氣よく挨拶できるようにする。そのためには、教職員含めて、みんなで取り組んでいく。</p>
安全管理	<p>◎バスの安全管理だけでなく、保育中の子どもたちの安全管理にもしっかりと取り組んでいく。</p> <p>そして、子どもの安全管理を最優先する。</p> <p>◎子どもたちと正しく防災・防犯に対する知識や行動を身につけるようにしていきたい。</p>
健康管理	<p>◎教職員および園児たちの健康管理</p> <p>コロナは5類に移行したが、コロナだけでなく一人ひとりの健康管理意識を高める。自分自身の健康管理を含め、感染防止対策を継続する。みんなが安心して保育できる環境づくりに努める。</p> <p>◎熱中症予防のために、熱中症指数の計測やその状況に合わせた行動基準をもって、子どもたちが健康に安心して活動できる環境をつくる。</p>

## 5、財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。
---------------------------------